

電気通信大学 平成16年度シラバス

| | | | |
|---------|--|----------|--------|
| 授業科目名 | 人文社会特論G | | |
| 英文授業科目名 | Researches in Humanities and Social Sciences G | | |
| 開講年度 | 2004年度 | 開講年次 | 3, 4年次 |
| 開講学期 | 6, 8学期 | 開講コース・課程 | 夜間主コース |
| 授業の方法 | | 単位数 | 2 |
| 科目区分 | 総合文化科目-上級科目-上級科目 | | |
| 開講学科・専攻 | 情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科 | | |
| 担当教官名 | 三宅 紀治 (学内連絡教官) | | |
| 居室 | 清水建設株式会社技術研究所 | | |

| | |
|----------|------------|
| 公開E-Mail | 授業関連Webページ |
| | |

| |
|---|
| <p>【主題および達成目標】</p> <p>(a) 主題：我が国の都市は、これまで様々な社会的背景のもとで発達・変化してきたが、未解決の問題も多い。この授業ではその社会的・歴史的背景を学び、現在の都市がどのような状況にあり、またどのような課題をもっているのか、その解決方法の検討を主題として取り上げる。</p> <p>(b) 達成目標：私達が今後都市問題を考える上で、どのような考え方が行動をとるのがよいかの基礎知識ならびに応用知識を身につけることを目標とする。</p> |
|---|

| |
|--------------------------------------|
| <p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>特になし。</p> |
|--------------------------------------|

| |
|---|
| <p>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</p> <p>特になし。</p> |
|---|

| |
|--------------------------------------|
| <p>【教科書等】</p> <p>授業中配布する資料以外になし。</p> |
|--------------------------------------|

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

上記主題および達成目標から、次のような内容・進め方とします。

- ・イントロダクション：この授業の概要や位置づけなどを最近のアカデミックな観点を参考に説明。
- ・都市の土地形成：東京の下町・臨海部を主な例として取り上げ、江戸時代から現在までの都市の土地がどのように形成されてきたのかを、その目的・方法について社会・文化的背景も考慮して解説します。
- ・我が国の社会資本の現況と課題：社会資本の意義、社会資本整備の歴史、先進諸外国と比較した我が国の社会資本整備の状況、都市再生など今後の社会資本の課題やありかたなどについて具体的な事例を上げながら解説します。
- ・都市活動に伴う環境問題：現在の都市がかかえる地下水・土壌汚染，都市活動の結果発生する廃棄物処理などについて今後のあるべき姿も考慮しながら説明します。
- ・身近な都市空間と課題：現場に行きさえすれば、誰でも目にすることができる身近な都市空間と課題、その解決案について事例を取り上げ解説します。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)評価方法

それまでの授業内容から授業中に3回のレポート作成、ならびに12月に提示するテーマについて1回の課題レポートの提出を課し、これらから次のように総合評価する。

成績評価 = (授業中レポートの評価点 × 50%) + (課題レポート × 50%)

(b)評価基準

授業中レポートでは授業内容の理解と自らの意見を提示できていること、課題レポートでは出題の主旨を理解し、内容的確性に加えてオリジナリティが表現できていることが、合格の最低基準になる。課題レポートの提出のみあるいは授業中レポートのみでは合格しない。

【オフィスアワー：授業相談】

特に設けない。質問等は非常勤講師室のメールアドレスで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

特になし。

【その他】